

第5章 プランの推進

1 庁内推進体制の充実

男女平等参画の社会の実現に向けて、市が実施するあらゆる施策の企画立案及び事業の実施が男女平等参画の視点に立って行われる必要があります。

市長を本部長とする「男女平等参画施策推進本部」を中心として、男女平等参画に関する施策の総合的かつ効果的な推進を図ります。

2 プランの周知

男女平等参画の推進にあたっては、市民一人ひとりの取組や協力が重要となります。

そのため、より多くの市民に周知が図れるよう、プランを広報紙や市のホームページなどの媒体やあらゆる機会を通じて積極的に周知します。

また、男女平等参画に関する情報提供を積極的に行い、市民及び事業者等の理解を深め、主体的な取組を支援します。

3 市民や関係機関との連携・協力

男女平等参画社会の実現に向けては、市、市民、教育関係者及び事業者が一体となって男女平等参画のまちづくりに取り組むことが必要です。市は地域団体や事業所等との連携を図り、計画内容の周知、各種情報の提供、ネットワークづくりの支援に努めるとともに、住民・事業者・地域団体等の主体的な取組を促進します。

4 国・大阪府との連携

プランを総合的に推進するためには、男女平等参画に関する本市の現状把握と、国や大阪府等の動向に関する情報の収集及び提供を充実させるなど、広い視野を持って取り組む必要があります。

国や大阪府及び男女平等参画関係機関等との連携や協力、情報共有を図り、効果的な計画の推進に努めるとともに、社会経済状況の変化や、国、府の法律や制度改正等の動向を踏まえて、必要に応じて計画の見直しを図ります。

5 プランの進行管理

プランを実効性のあるものとするため、各施策について目標となる数値を設定しています。これらの目標値を含め、その進捗状況については毎年、評価・検証を行い、その結果に関する報告書を作成して公表します。この評価と検証の結果は、PDCAサイクル⁵³の考え方にに基づき、次年度以降の施策の改善に活かすよう努めます。

評価指標		現状値 (令和3年度)	目標値 (令和13年度)	
基本目標Ⅰ	市における審議会等の女性委員の割合	23.4% (令和2年度)	40%以上60%以下	
	女性委員のいない審議会の数の割合	10.0% (令和2年度)	0%	
	市における女性の管理職の割合	13.6% (令和2年度)	20%以上※ (令和7年度)	30%以上 (令和13年度)
	※中間見直し時点における達成状況を踏まえ、必要に応じて取組内容を再検討する。			
	地域活動の場で男女が平等であると感じる人の割合（市民アンケート調査より）	38.2%	50%以上	
基本目標Ⅱ	社会通念やしきたり・慣習で男女が平等であると感じる人の割合 (市民アンケート調査より)	10.6%	50%以上	
	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに反対する市民の割合 (市民アンケート調査より)	50.5%	90%以上	
基本目標Ⅲ	「男女いきいき・元気宣言」事業者制度への登録企業数	0社 (令和2年度)	3社	
	市における男性職員の「育児休業」取得率	0% (令和2年度)	25%以上	

⁵³ PDCAサイクル

品質管理など業務管理における継続的な改善方法。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返して業務を継続的に改善する方法。

評価指標		現状値 (令和3年度)	目標値 (令和13年度)	
基本目標Ⅶ	LGBT等の性的少数者の「言葉と意味の両方知っている」人の割合 (市民アンケート調査より)	49.3%	80%以上	
	LGBT等の性的少数者の方の生活のしづらさを感じている人の割合 (市民アンケート調査より)	86.7%	50%未満	
	がん検診受診率	乳がん (令和2年度)	16.6%	40%以上
		子宮がん (令和2年度)	23.7%	35%以上
	泉南市を住みやすい・住み続けたいまちだと思う市民の割合 (第6次泉南市総合計画策定に係る市民意識調査より)	住みやすい (令和2年度)	67.1%	70%以上
		住み続けたい (令和2年度)	64.4%	70%以上
	リプロダクティブ・ヘルス/ライツという考え方を普及するためのセミナーの開催回数 (令和2年度)	0回	年1回以上	
	基本目標Ⅷ	ドメスティック・バイオレンス(DV)について、直接経験したことがある人の割合 (市民アンケート調査より)	6.2%	0%
ドメスティック・バイオレンス(DV)の経験や見聞きしたことについて、誰にも相談しなかった人の割合(市民アンケート調査より)		33.8%	0%	